

市内2団体が「平成22年度 石狩管内教育実践表彰」受賞

今年度の「石狩管内教育実践表彰」に、北広島市の2団体が選ばれ、去る2月17日にホテル・ライフオーソ札幌で、他の市町村からの受賞者とともに、石狩教育局長から表彰を受けました。

表彰を受けた団体と、その受賞理由は下記のとおりです。

おめでとうございます。



社会教育 / 団体

大曲創樹会 (代表 三浦 幹男)

会員数 59名 平成9年7月設立

～生涯学習の成果を生かした社会参加の推進～

まちづくりの協力者として、市民参加を積極的に行なうことを目指し、講演会や研修会など、自主企画した学習機会を市民に提供する活動を通して地域の生涯学習振興に努めています。

特に、北広島市生涯学習フェスティバル（元気フェスティバル）においては、市内60団体で構成する実行委員会に発足当初から参画し、事業運営の中心的な存在として活動するなど、市民の学習活動の充実に大きな成果をあげています。

また、地域の子ども達を対象とした各種講座における指導は、会員自らの特技や経験、学習の成果を生かした取組であるとともに、生涯学習を通じた地域貢献活動として、高く評価されています。



学校教育 / 団体

北広島市立広葉小学校 (校長 島山 昌平)

児童数 239名 学級数 11学級

～自ら学び心豊かにたくましく生きる子どもの育成～

自ら学び心豊かにたくましく生きる子どもの育成を目指し、思いや考えを表現する力を培うとともに、思いやりの心や社会性をはぐくむ教育活動を推進しています。

特に、学習指導において、国語科の単元構成や学年の発達段階を踏まえた言語活動の工夫は、進んで思いや考えを表現する力の育成に大きな成果をあげています。

また、校内外の花のお世話や除雪、リサイクル運動等のボランティア活動の推進は、思いやりの心や社会性をはぐくむ実践として高く評価されています。



表彰を受ける大曲創樹会



表彰を受ける広葉小学校

